

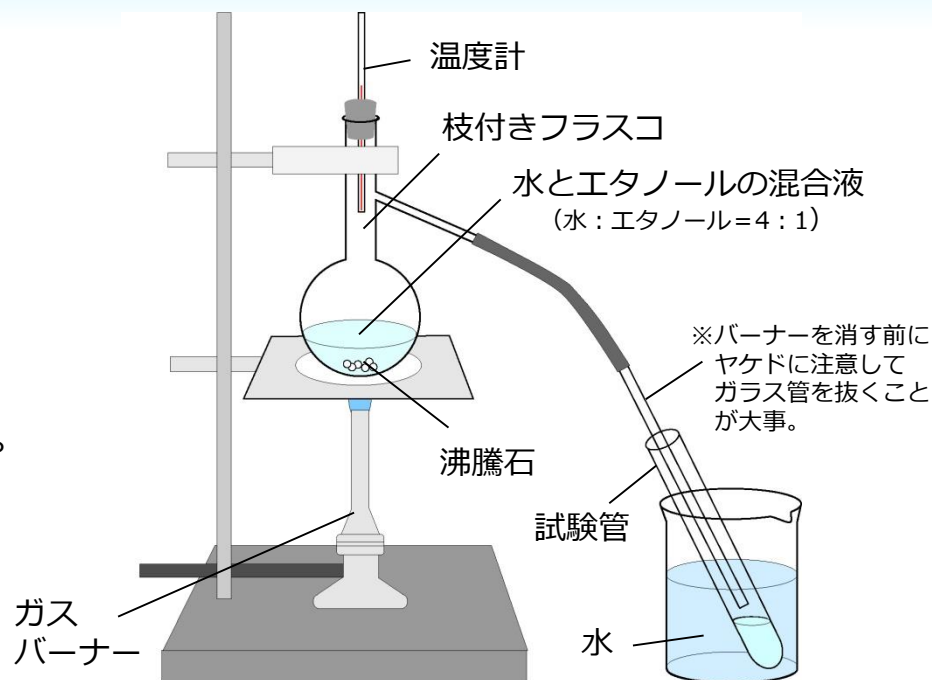
# 水とエタノールの蒸留実験の注意点

## 実験前に確認すること

- 必ず保護眼鏡を着用する。
- 実験中は必ず換気を行う。
- エタノールは火気に近づけない。
- 必要以上に高濃度の混合液を作らない。
- 平坦で安定性の良い場所で実験を行なう。

## 注意点

- 沸騰石を入れる。→突沸を防ぐため。
- 枝付きフラスコに入れる液体の量は半分以下にする。→吹きこぼれる恐れがあるため。
- 気体を冷やす試験管を密栓しない。  
→実験器具内の圧力が大きくなり、爆発する恐れがあるため。
- 出てきた液体を試験管に集めた後、加熱をやめる。  
その際、**ガスバーナーの火を消す前にガラス管を試験管から取り出す。**  
→試験管内の液体が逆流し、枝付フラスコが割れるのを防ぐため。
- 水とエタノールの混合液、エタノールの留出液は引火しやすいので火に近づけない。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>